

■タイの高校生と交流
タイ中部ノンタブリー県にあるシーブヤーノン学校の高校生5人が28日、神戸北高校(北区唐櫃台2)を訪問した。写真。



迎式典で、民族衣装「シワライ」を身に着け、五穀豊穡(ほうじょう)などを祈願する伝統舞踊を披露すると、会場から拍手が送られた。その後、書道や華道などの授業にも参加し、神戸北高校生と交流を深めた。

1年のカナーカーン・マハールピルンさん(15)は「最初は緊張したが、遠足も交流会も楽しかった。今度は彼らをタイに招きたい」。ホストファミリーとしてタイの生徒を受け入れた1年の倉田明利さん(16)は「4日間ずっと一緒なので仲良くなった。連絡先も交換したし、これからも交流を続けたい」と笑顔だった。

(唯)